

誰もが大井川の恵みが育んだ文化芸術を紡ぎ、心豊かになれるまち『しまだ』

視点	施策の柱	施策	背景（現状・課題）
まもる ・保存する ・継承する	地域資源の保存と継承（A・E）	・歴史的資源の調査及び保護の推進（ト・ナ） ・文化財や伝統芸能の保存・継承（イ・ト）	・自然や歴史やお茶など、身近にあるものを大切にすべき。(33) 市内には文化財や優れた景観など、島田らしさを感じる地域資源が数多く存在する。(29. 30)
	文化芸術の担い手の確保（A・B・F）	・担い手を育成する団体への支援体制の構築（イ） ・担い手の育成・獲得（オ・ケ・テ・ニ） ・守りたいという思いの醸成（ウ・エ・オ・カ・ソ・タ・テ・ナ）	・活動団体の高齢化・固定化、担い手不足が進行しており、活動の維持が困難になりつつある。(3) ・文化芸術に興味・関心を持ちながらも、特に活動していないまたは活動できない人がいる。(1.2.5.6) ➤文化芸術に関わりを持つことでその価値を認識し、自ら担い手になりたいという思いが育む。 ・文化団体が地区単位で活発に活動しており、その個性や多様性が維持されている。(12) 観光客も市民も楽しみながら歴史を学べるとよい。(40) ➤活動の裾野を広げるためにも、新たな担い手の確保が必要。
はぐくむ ・育てる ・活用する ・価値を高める	地域資源の創造的活用（C）	・地域資源の発掘・再評価・認知（コ・セ・ツ・ナ） ・地域資源の新たな活用方法の構築（サ・シ）	・市民が価値を見出せていない身近な地域資源が存在する。(31) アンケート等で「島田らしい」地域資源を聞くと、いつも同じで目新しさが無い。(32) ・地区や関係者を限定するような文化芸術活動も存在する。(6) ・近世から現代までの交通機関（川越、SL、高速道路、JR、空港）がそろっている。(34) ➤外部からの視点等を利用して、「島田には何もない」という市民の意識を変えることや活用方法を見直すことが必要。
	愛着や誇りの形成（A・B・E）	・生活文化や景観の中に島田らしさを見出し、価値として位置づける仕組みづくり（シ・チ・ツ・ナ） ・文化芸術を愛でる思いの醸成（キ・ナ） ・学校教育、社会教育の活用・協働（サ・テ） ・自律的市民を育成する仕組みづくり（モ）	・「島田には何もない」という意識が市民にある。(52) 「島田らしい」といえる目立った特産物や名物がない。(11) ・東海道と大井川がもたらした2つの宿場町と東西文化交流の歴史があり、外部の人を受け入れる懐の深さが存在し、優れた文化の受容性が高いと考えられる。(9.13) ➤今ある地域資源の価値に気づかせるため、外部との交流を活用する。(52) ➤身近な生活習慣や景観等を文化芸術資源であると捉えることで、人が幸せになれるという説明が必要。(14) ・学校や文化施設、公民館において各種の文化芸術施策が行われているが、連携が図られていない。(7.8.49) ➤学校教育や社会教育等の活動の活用や更なる協働が望まれる。
つくりだす ・創出する ・発掘する ・特質を付加する ・価値を見出す	文化芸術の発展と創造（C）	・地域資源を源泉とした新たな文化芸術の創造（オ・コス・セ） ・茶文化の更なる推進（コ） ・地域資源の持つストーリーの発信（シ） ・文化芸術と関連分野の連携・協働の推進（サ）	・地域資源に目新しさを感じない。(32) 地域資源が個々に存在し、互いに関わり合いが見出せていない。(36) ➤地域資源の背景にある魅力的なストーリーの発信や異なる地域資源を組み合わせることで、新たな価値を生み出すことが必要。(35) ・Eスポーツなど若者中心の新しい文化芸術活動が把握できていない。(4) ➤市民の意識の変化や社会状況の変化に応じた文化芸術施策の展開が必要。
	誰もが参加・活動できる環境づくり（A・B）	・良質で多様な文化芸術に触れられる機会の創出（ア・ソ・タ） ・誰もが文化芸術を享受する機会や場の確保（ウ・エ・オ・カ・キ・ケ）	・文化芸術に興味・関心を持ちつつも、活動していない(1)または活動できない人がいる。(2.5.6) 「きっかけがない」が文化芸術活動をしないう理由になっている。(46) ・多目的に、柔軟に使えるようなオープンスペースが不足している。(28) 観光客も市民も楽しみながら歴史を学べるとよい。(40)
	文化芸術を活用した地域課題へのアプローチ（C・F・H）	・地域ニーズを捉えた文化活動のあり方の研究支援（ス） ・地場産業や観光・商業との連携・協働（サ・ス・ム） ・文化芸術活動を通じたまちづくりの推進（サ・シ・ス） ・空き家を活用した文化芸術活動の推進（サ・ス・ヌ）	・空港が近いという立地を、まちなかの賑わいや観光、商業に活かされていない。(38) 外国人にとって魅力的な文化資源がある。(39) ➤インバウンドを意識した文化芸術と観光や産業との連携の強化が必要。(37.39.43) ・若年層の人口が流出傾向にある。(42) 空家（古民家）、空店舗などの資源が活用されていない。(41) ・景観、自然、色彩、人の受容性の良さが島田市への移住理由としてある。(45) ・文化芸術活動には人やコミュニティなどをつなぐ力がある。(44) ➤文化芸術を人口流出対策や移住・定住施策、福祉施策に活用できる。
	人材の獲得・活用（F）	・市外の専門家やアーティストの活用（リ） ・文化芸術を牽引する人材の活動基盤の構築（ヌ） ・人材活用の仕組みづくり（ニ・ヒ） ・事業所・団体・大学との人材交流の推進（ハ）	・文化芸術活動や事業等を実現する（プロデュース、コーディネート等）能力がある人が少なく、多くのイベントが一過性のものになってしまう。(15.16.17.18) ・世界中から芸術家が集まり、集うまちになると良い。(43) ➤人材育成とともに、外部の優れた人材を獲得・活用していくことが必要。
つなげる ・連携・協働する ・発信する ・波及させる ・「まもる」、「はぐくむ」、「つくりだす」のきっかけとなる	事業者・団体と文化芸術活動の連携（H）	・事業者が文化芸術にかかわりやすい機会の創出（マ・ミ・ム・モ） ・従業者の文化芸術活動の支援（メ）	・文化芸術活動に支援するメリットや多様な支援方法が周知されていないため、事業者の支援が地元の祭りや花火へ資金支援に偏っている。(23.24.25) ➤文化芸術活動団体が必要とする支援を把握し、事業者等をマッチングする必要がある。
	文化芸術活動を通じた交流の促進（B・D・F）	・多世代交流、多文化交流の促進（チ・オ） ・文化芸術を通じて人と人とを繋げる場の創出（キ・ケ） ・人や文化をコラボレーションさせる機会の創出（チ・ネ・リ） ・文化施設の機能向上と活用の促進（ク）	・参加のハードルを下げるには、子どもを巻き込んだイベントや、多世代の人が交流するイベント等が有効である。(48) ・活動への参加には、金谷宿大学のような身近な文化芸術活動を通じた人と人とのつながりづくりが重要となる。(47) ・文化施設や公民館等での活動は、昔ながらの習い事等が多く、若者の参加が少ない。(7) ➤新しいものとの出会いや（50）、文化芸術に関わりを持つ機会や、楽しさを伝える機会を創り出す必要がある。(51) ・市内には大規模ホールがなく、おおろりは老朽化がしている。(26) ・文化芸術活動や事業等を実現する（プロデュース、コーディネート等）能力がある人が少なく、多くのイベントが一過性のものになってしまう。(15.16.17.18) ➤おおろりや博物館等の既存の文化施設の機能維持と有効活用が必要。
	地域資源の集積（C・D）	・文化芸術資源を結びつけた誘客促進（サ・シ） ・文化芸術拠点の集積（ク・サ）	・市内の文化施設や文化資源が個々に存在しているため、歩いて周遊することが難しい。(27.35.36) ➤まちなかで文化芸術に関わるスポットが集まり、まち歩きのできるエリアが必要である。(38)
	情報の集約と発信力の強化（G）	・多元的な情報の集約（ホ） ・多様なメディアを通じた情報の発信（ホ） ・市内外への発信（フ） ・ささる（響く）情報の発信（フ・ハ）	・各分野に個別の情報発信をしているが、枠を越えた情報の共有化が進んでいない。(19.21) ・文化芸術に関する情報伝達は、広報、チラシ、ロコミなどのアナログが主体で（20）、受信対象が限定的になりがちである。 ➤情報弱者や若者などに届く情報発信が必要である。(22)